

しんおんせん

議会だより



21年度補正予算 P15・16

3 常任委員会報告 P12～14

ふるさと寄稿 松井長治氏 P18

議会構成 議長に岡坂氏 P3

行政改革は進んでいるか

一般質問 P4～11

どうなる浜坂病院？

ジオパークへの取組みは？

ケーブルテレビは？

漁業
畜産
農業

振興策を？

新年あいさつ

議会議長 岡坂峰雄



新年明けましておめでとございます。平成22年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、一昨年にアメリカに端を発した金融危機による世界不況がわが国にも大きく降りかかり、急激な景気の悪化が国民生活に影響を与えています。また国においては昨年秋には政権交代が行われるなど、政治経済をめぐる環境は大きな転換期に遭遇する中での年明けとなりました。

わが町も金融危機の影響を受け、雇用や福祉・医療はもちろん住民生活に一層厳しい年でありました。景気が浮揚し地域の活性化が図られ、地域住民の皆さんが安心して暮らして行く為には、まず地域産業の育成であります。一次・二次産業を活性化させることにより、観光産業などの三次産業への波及効果が可能となり地域経済の活力強化に期待するところであります。

新温泉町が発足して5年目を迎え、私達議会もこの現実を直視し、町の発展に向けて、今まで移譲に積極的に立ち向かい、明日への意欲と行動を持って一步一步ではありますが、まちづくりの構築に向けて全力を傾注して行きたいと考えます。

地方財政は、大幅な税収入の減少等により財政不足をきたしていますし、住民ニーズは複雑多岐に亘りますが、創意と工夫により住民誰もが希望の持てる力強い活気あるまちづくりの実現に向けて更なる努力をして行かなければならないと決意を新たにしているところであります。

そういう中で、この目的達成に向けての、まちづくりにおける最大のキーポイントは、町の財政状況は勿論の事、町が取り組む事業等について住民皆様方との情報を共有して行くことであると考えます。

本年は、町の将来を位置づける重要な年になると思われれます。どうか、皆様方の並々ならぬご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、平成22年が皆様方にとって幸多き年であることをお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

議会構成

改選後初の第27回臨時議会が11月20日開会され、下記のとおり選出されました。

議長 岡坂 峰雄
副議長 西村 銀三

総務教育常任委員会 (6名)

◎	西村 敏弘	所管	総務課
○	宮本 泰男		企画課
	西村 銀三		税務課
	中井 次郎		出納室
	小林 俊之		議会事務局
	岡坂 峰雄		監査委員事務局
			教育委員会

産業建設常任委員会 (5名)

◎	宮脇 諭	所管	商工観光課
○	中井 勝		農林水産課
	西脇 明		建設課
	丸山 諄二		牧場公園課
	中村 経逸		

環境福祉常任委員会 (5名)

◎	谷口 功	所管	町民課
○	谷田 一富		健康課
	植田 光隆		福祉課
	西村 公子		公立浜坂病院
	小林 一義		上下水道課

監査委員 (議会選出)

小林 一義

◎は委員長
○は副委員長



12月9日、10日に12人の議員が町長に対しての一般質問を行った。

浜坂病院問題プロジェクト設置を

町長 早急に検討したい



西脇 明 議員

問 町長選挙のマニフェストにもあげているが、高齢化の我が町にとって浜坂病院の24時間救急医療体制維持のため、医師確保は緊急課題である。但馬の医療確保協議会で県は「豊岡、八鹿を拠点病院とし、浜坂、村岡などは、慢性期病院の位置づけで、常勤医3名で満たしている」見解である。我が町として浜坂病院の目指すべき方向付けは、行政のみならず議会、町民一丸となつて解決する課題とし、プロジェクトを設置し、救急体制並びに財政問題を含

め、新年度予算策定と合わせて検討すべきである。

町長 24時間救急医療体制を確保するには、最低5名の常勤医が必要であり、医師なきところに病院の健全化はあり得なく、医師確保が大前提

である。提案のプロジェクト設置を含めて従来とは違った形で、新年度予算においても検討したい。

ジオパークの推進を

問 国内候補地として、認定を受け、いよいよ世界に向けてスタートしたジオパーク、町長はこの点について積極性が見えませんが、我が町は、観光が大きな目玉です。是非ジオパークをきっかけ

として観光振興に役立てる積極展開をすべきである。

町長 民間事業者の参入で検討

国の超高速大容量計画の対応は

にして観光振興に役立てる積極展開をすべきである。

あり、連携強化と構成市町が独自性を発揮した取り組みを強化したい。具体的には住民組織の立ち上げ、教育分野で理解を深める取り組みなどを考えている。



中村 経逸 議員

問 情報基盤の地区間格差と解消は。

町長 ADSLは格差はある。解消は携帯モバイル等多様な展開がある。

問 国の2010年プロジェクトバンドゼロは。

町長 クリアしている。

問 国の超高速大容量計画の地域格差の対応は。

町長 超高速データー整備

備は必要。国の交付金事業等事業者の推移をみて民間の事業者の参入で検討。

防災無線整備は…

問 防災無線設置は平成元年と認識している。耐用年数は、トラブル発生件数は。

町長

- ・設置年そのとおり。
- ・耐用年数10年。
- ・トラブル件数19年度延べ13件(落雷含む)、20年度4件、21年9月末8件。

問 整備必要と考えるが。

町長 修繕補修で対応。



観光振興に期待されるジオパーク

一般質問



課題解決がもたれる浜坂病院

28年にデジタル化がもたらめられておりその時整備

必要医師数は

問 浜坂病院医師不足現在常勤医3名必要医師数は。

町長 365日24時間体制最低5名

浜坂病院医師不足 議会で国県へ医療体制 改革等要望

問 国の医師臨床研修制

度で医師減少をみた。その対策は18年度に新温泉町医療体制大綱を策定

その対応での医師招へいは。

町長 議会の知恵を得て全力で取り組む。

問 町長・議員で検討の場を設け医療体制の抜本的改革等国・県へ要望が必要。

町長 国・県への要望は是非議会も対応願いたい。

問 休診科の対応は。

町長 休診科は小児科・眼科・麻酔科で小児科・麻酔科は全国的医師絶対数が少なく再開は困難と認識。眼科は現有資機材が古く病院経営に目鼻が立てば資金投資して課題解決の上再開する。

問 町長・議員で検討の場を設け医療体制の抜本的改革等国・県へ要望が必要。

特別養護老人ホームゆむらへの補助金は 町長一定条件の中で見直しは やむをえない



西村 公子 議員

問 16年前、やがてくる高齢者対策と障害者の方々の尊厳と健やかな生活ができる施設としてオープンした。なくてはならない施設である。

町長 必要性は指摘のとおりだ。

問 この4年間補助金が取りざたされてきた。

町長 地方自治法による公共的団体補助金であれば一定条件の中で見直しはやむをえない。

問 高齢者、障害者が安心安全のなかで生活ができる対策を強く望む。

町長 まだ調整していかない。22年度予算措置になる。

商工会合併の方向性は

問 平成22年度4月1日新温泉町商工会として発足と聞くが行政としての考えは。

町長 商工法に基づく公益性を持った団体であり自主的主体的な合併が望ましい。

問 浜坂商工会の駐車場テナント一階の町所有の土地と行政との関係は。

町長 事象の発生のなかで敷金・権利金を充てた部分の償還ができてない。

問 すつきりとした体制で発足すべき。

町長 長年の経過の中で町は協力してきた。それぞれの役割と責任のもとで問題解決を言ってきた。

新型インフルエンザ 対策を

問 小児用ドライシロップが全国的に品薄だと聞く。

町長 優先順位をつけて国・県の指導の中で対応する。

問 製薬会社での生産もきびしいと聞くが対策は。

町長 医師会の協力と、できる限りの財政措置を取り対応する。



合併に向けて審議が続いている商工会

浜坂元参事の処分は

町長 手続き上に重大な問題



小林 一義 議員

問 病院改革プランの見直しはいつするのか。

町長 医師の確保を前提としてみ直しを図る。

問 改革を進めるために参事を採用したが突然クビになった。名誉回復のため一日も早い処分撤回を求める。

町長 分限処分に至った経過は、極めて手続上問題があるという認識である。

問 問題のある不当な処分はただちに撤回するべきだ。

町長 一端出した処分が撤回出来るかどうか法律家の見解を聞いて対応す

る。

問 病院のヒヤリ・ハット数はどうなっているのか。

町長 4年間で164件あり院内で協議している。

問 質の向上のためにも十分な検討管理が必要だ。

町長 医療安全対策委員

会に報告している。

問 院長の勤務実態はどうなっているのか。

町長 十分に精査して、必要があれば、私が指導をする。

行政改革について

問 経費の節減と効率と共に大切なのは行政サービス、質の向上である。

町長 いままで取り組みと対応は。

町長 改革プランは77%達成でムダを徹底的に省いていく。



子育て支援拠点の「すこやか〜に」

問 事業の見直しは実施するのか。

町長 ケーブルテレビの浜坂延伸は中止する。

問 税金のムダがないかをチェックする事業仕分けを導入する考えは。

町長 いまのところは導入の考えはない。

少子化対策について

問 子供たちの個性・能力・創造性・思いやりという心を育む観点から「子育て基本条例」を制定すべきだ。

町長 皆様の理解を得て対応する。

町長 一体感を持った町政の推進を最善の努力を尽す



植田 光隆 議員

町長 委員会で鋭意制定すべくはかっている。

企画課長 旧町の制定を受け継いではその意見が多くある。

問 旧町の商工会の合併推進は。

町長 合併は自主的双方が決すべきこと、行政として必要に応じて調整する。

問 C A T V事業浜坂地域への延伸と、宅内受信装置未調整地区の対応は。

町長 C A T V事業は7

気候風土も多少違う、山と海が4年前に合併した。町民が安心して暮らすためにも一体感ある町政が急がれる。町長の考えを伺う。
町民の一体化を図るため町花・町木・町鳥・町歌の制定は。

一般質問



漁獲量日本一のカニのセリ風景

割以上が要らないと言っている。しかし高度情報化に備える基盤整備は鋭意進めたい。過去の経過を踏まえ予算措置をし、800戸の整備対応を考えている。

農林水産漁業の振興策は

問 第一次産業の振興なくして我が町の発展又は活性化は有り得ない。町のトップとして現時点のビジョンを伺う。農業の振興は。

町長 優位性を持った農産物が早く消費者へ届く流通体型が必要だ。

問 但馬牛の振興は。

町長 多頭化を阻害する要因は政策で検討する。

問 漁獲量日本一を誇る漁業は。

町長 漁業者の皆さんと

調整を図り対応したい。

問 林業整備、県民緑税延長を望む。

町長 森林の整備事業を引き続き県に対応をお願いする。

町づくりは人づくりとして町の対策

町長 若者の意見を町政に反映させたい



谷田 一富 議員

問 人づくりは町の繁栄を次世代に繋ぐ大切な役割を果たしていくものと考えているが。

町長 審議会、委員会等をつくり、人づくりという視点の中で対応してまいりたい。

除雪車対策について

問 年々雪が少なくなると、民間業者の除雪車の維持管理が大変負担に

を得て、国の支援を受けながら不感地帯をなくするよう努力してまいりたい。

町長 民間業者の御理解

ケーブルテレビ中止に伴う今後の対策

問 選挙公約で中止をはっきり申されましたが浜坂地域でのプロードバンドはどのように考えているのか。

町長 早い機会に民間業者の参入を仰ぎながら、浜坂地域の末端までその

恩典が享受できる対応を図っていきたい。

町名の但し書きについて

問 行政の決定において、但し書きというのは本来ありえないと思っております。4年間放置された但し書きを検討するのもしないのか。

町長 まさに信義の問題であり、結論はどうあれ検討すべしと思っております。

携帯未通信地区への対策

問 防災無線は災害告知に有効であり、携帯電話は災害発生後において大変な役割を果たしております。新温泉町内の未通信地区への対策をどのように考えているか。

町長 民間業者の御理解



早朝よりフル活動の除雪車

補助金の見直しは

町長 問題があれば是正する



西村 銀三 議員

に疑問がある。お金が生かされていないのではないか。又、社会福祉協議会では内部留保金がどんどん増えているにもかか

わらず、毎年多額のお金が投入されている。根本的見直しが必要だ。

町長 今後その必要性をはつきりさせ、問題あれば是正をしたい。

不良資産の処分を

問 人口減少や統合などで保育園、小学校などが余ってくる。又、せつか

く作っても利用率が非常に低い施設もある。温泉高校跡地も2千万で買ったが、企業誘致はむずかしい。処分すべきは処分し、効率の良い施設運営をやるべきだ。

町長 跡地は地区住民と話し合っていく。施設利用については、実態を調べ検討する。

選挙のあり方

問 11月の選挙で投票率が約2%、250名減った。増え続ける高齢者や障害を持った人達に対して、投票しやすい環境が整っていないのでは？住民参画の基本中の基本は投票にある。

町長 指摘の通りだ。参政権を行使しやすくすることは行政の責務である。

補助金は必要か

問 例えば観光協会では補助金が1,400万も使われているが、お客さんは減り続けており効果



効率の良い施設運営を期待される旧温泉高校跡地

「道の駅」について

町長 速やかに対応する



西村 敏弘 議員

問 「道の駅」設置に関しての認識は。

町長 着任してから速やかに対応するよう指示をだした。

問 21年3月議会で前町長は、検討委員会を設置し検討を開始すると答弁。3月以降今日まで何をしましたか。

企画課長

5月に企画

課、農林水産課、建設課、土木で調整。町長の方針もあり、採算性で否定的な意見が多かった。調査費を要望したが落とされた。アドバイザーをお願いできたのが9月になったからである。まず、するということ前提のもとで議論を行い、解決策を考えるべきだと思っている。

町長 やるという前提で、鋭意調査を行うことによつて、前向きな対応をする。

問 町長は盛んに交流人口の増加を言われている

一般質問



指定管理者で運営されている「リフレッシュパーク湯村」

る。交流人口の増加、あるいは農作物・加工品の即売場は、町の発展につながるかと確信する。今後の計画を問う。

町長 22年度で検討しながら、できるだけ早い時期に建設する前提でことを運びたいと思う。必要な予算措置は22年度で対応したい。

指定管理者

問 指定管理者で夢公社・上山エコミュージアム・社協・八田文化協会
で約8,300万円支出している。それらが損失を出した場合、誰が補填するのか。

町長 当然、指定管理者で処理されるべきもの。

ただ長期にわたつての経常ならば、協定内容を変更することもありうる。

問 指定管理料を見直したる考えはあるか。

町長 契約期間が終了する局面でありうる。

語句の説明

指定管理制度

公の施設の運営は、公共性の確保の観点から町の出資法人や公共的団体に限られていたが、民間業者やNPO法人、ボランティア団体に管理運営を委ね、民間の能力を積極的に導入していく制度。

北但広域ごみへの取組は

町長 最大限の努力を傾注する



宮 脇 諭 議員

処方はまだ持っていない。県とは定例会が済み次第面談を求める。

問 医師の偏在だけが医師不足の原因か？

町長 一般論として言っている。浜坂病院特有の原因があるとするなら速やかに是正する。

問 あなたは議員当時、病院長にかなり辛らつた評価をされていた。院長も貴重な常勤医3名の人。町長としてどう対応

病院医師確保は

問 「浜坂病院を地域医療の拠点に。医師確保に全力を尽くす」とあるが具体的にどう展開されるか。

町長 医師確保の具体的

情報基盤整備は

問 浜坂地域の情報基盤整備は周辺地域整備を前提に民間事業者によるの見解に間違いはないか。

町長 その様な理解で結構かと。

問 民間業者が自前で参入するというのがその時期はいつか。

町長 国県の動向と補助スキームを見極めての対応である。



されるか。

町長 職責を損なうような一定の事実があれば指導する。



整備が急がれるゴミ処理場

北但広域ごみ

問 広域ごみ処理場整備を目指し、1市2町で構成する北但行政事務組合の副管理者に就任された。平成25年稼働に向けたごみの状況だ。責任ある立場としてどう難局に対処されるか。
町長 ご指摘のように待ったなしの状況にある。副管理者として管理者（豊岡市長）を補助し最大限の努力を傾注したい。

生活密着型公共投資を

町長 実感ある対策を進める



中井次郎 議員

問 全集落においての、町政座談会を提案する。

町政座談会

町長 4年間で全ての集落を回れるかわからないが、そのように対応したい。

公共投資について

問 新温泉町の経済を支えてきた建設業は、公共事業減少で倒産や規模縮小が相次いでいます。生活密着型の公共事業を積極的に



広げる必要のあるランチルーム

を行い、雇用や消費を生み出し、それが最終的には税金として、町の財布に返ってくる、循環型の地域経済を作れることを提案する。
町長 実感が住民に伝わる公共投資を進めていきたい。

学校再編と施設容量

問 温泉小学校は統合を前提とした建物でない。175名定員を超える子供たちを押し込めることは無理があるが。

町長 児童数についても教室の数、ランチルームについても適正規模ではない。

エチゼンクラゲの漁業被害対策は

町長 国庫補助事業を精査し、検討する



宮本泰男 議員

問 浜坂町漁協の沖合底引網漁業・定置網漁業に被害甚大、特に定置網漁業は10・11・12月（皆無の見込）半減ないし皆無の状態にあり漁業者は疲弊困窮している。町の救済策を求めている。

浜坂病院

問 「浜坂病院の医療体制充実」について対策は？
町長 公的病院は365日24時間体制が必要であ

町長 大変深刻な打撃を受けていると実感した。被害実態・国庫補助事業

等精査し検討する。

問 基本理念の「個性ある町づくり」の個性とは観光と考えるが産業振興とどのようにリンクさせるのか具体策は。
町長 「海・山・温泉」と多様な観光資源を外に発信し交流人口を拡大する。

一般質問



漁業者にとって被害甚大のエチゼンクラゲ

る。常勤医師7名、最低5名の医師確保に努める。

問 高齢者・ひとり暮らし、安心・安全方策として「何でも相談会」を立上げ巡回することを求める。

町長 ボランティアとともに活動できれば幸い。共働き夫婦が安心して子供を預けられる施設の拡充強化は。

町長 行政需要対応はできている。

ジオパーク

問 「山陰ジオパーク館」の運営について

- ・展示物の内容充実
- ・ガイド養成講座開設
- ・遊覧船乗り場の変更

等早期充実を求める。

商工観光課長 山陰海岸大型模型、休息所を設置する。

問 入館料有料化は。

町長 有料化はしない。

問 「かに祭り」について町職員の増員、交通渋滞対策等支援を求める。

町長 増員、支援する。

住民が主権者であるが

町長 その視点を忘れずに



谷口 功 議員

問 岡本町政の基本姿勢を伺う。

町長 日本国憲法の3原則、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3要素を踏まえ、みんなの、みんなによる、みんなのための町政を職員一丸となつて進めていく。

問 公平に町政の恩恵が得られることが肝要だ。

町長 選挙を通してそのことの大切さを痛感した。これまで町の町政になれきって、およそ住民の要望、住民が主権者であるという立場を失念しているのではないか、確認すべきだ。

町長 その視点を忘れずに行政各部を見ていきたい。

問 大企業優遇政策を貫いた自民党政治が地方経済の破壊と自治体財政を困難に陥れているが、その打開策を見出すために、調査・研究機関の設置を公約されていたが具体的な説明を伺う。

町長 経済の閉塞感を打開するため、旧来の審議会や委員会を乗り越えた研究者や、事業家などのご意見を集約して一定の打開策を助言してもらいたいと考えている。

問 大工・左官などの一人親方など小規模事業

者登録制度と、対象となる一件130万円以下の仕事づくりを緊急に実施すべきだ。

町長 仕事不足で困難な状況にあることは認識している。何らかの検討を加えていきたい。

問 なぜ医師不足が起こっているのか原因を正確に把握し、具体的対策が必要だ。医師確保のための専任職員を配置すべきだ。

町長 22年度予算で具体化した。広く住民、議会の皆さん等の英知を集すべきと考えている。



町職員一丸となつてがんばります

一般会計補正予算 1億6千7百万円増額可決

質疑内容

夢ネット

問 夢ネットのインターネットでスピードアップのための更新は何回目か。

答 3度目である。

問 現在のスピードは、最高5メガである。

特養ゆむら

問 特養ゆむらの補助金は今後いつまで。

答 再建のためで平成11年から24年までである。

問 町と取り交わした契約書はあるのか。

答 債務負担行為としているが契約書はない。

問 契約書とか根拠のないものに支払うべきではない。

答 議会での説明は旧温泉町でしているはずだ。再契約は考えていない。

問 調査すべきだ。

答 平成10年頃を調べてみる。

インフルエンザ

問 インフルエンザに対する補正は。

答 予備費を充当する。実費負担はいくらか。

問 2回で6,000円である。

問 義務教育まで枠を広げるべきだ。

答 対象を広げる気持ちはない。

問 ワクチン購入について医師会との関係は。

答 集団接種について医師会との合意があり、医師会名で購入する。

行政改革

問 地方の生活はいつそう苦しくなっているが町民主体の行政とは。

答 来年度の予算編成は住民生活に配慮したものにしたい。

問 職員が必要だが、住民サービスという自覚ができていない。

答 職員の協調姿勢がと

られるよう是正していく。

問 やりがいのある職場づくりが必要だ。

答 希望をとり人事異動を含めて配慮していく。

問 現在の予算執行率は。

答 総合では約60%である。

問 実質公債比率は18%までにおさめるような予算をすべきだ。

答 できるだけ斬新な改革をしていきたい。

問 北但広域のゴミ処理は発想の転換が必要だ。

答 事態を見極めたい。

国民健康保険

問 補正後の基本残高は。

答 4億122万円である。

問 滞納状況をみれば生活苦で高い税金となつて

いる。基金の一部をとり

入れている。次年度もとりくずす

のか。何らかのかたちで反映したい。

社会福祉協議会

問 社会福祉協議会の内部留保金が増えている。仕組みがおかしいのではないか。

答 企業活動によるものである。

問 安定しているのに補助金は過剰である。

答 法律に基づいてしている。

問 経営のあり方、内部留保のあり方を検討すべきだ。

答 自立のためを超えていけば見直す。

問 社協と町との関係は。

答 地域の福祉部門を担当している。

特別養護老人ホーム

問 特別養護老人ホームには待機者が多く将来は入れるのか。

答 マンパワー不足等の

問題があるが、処遇改善が徐々になされている。

温泉地区残土処分場

問 搬入単価は。

答 浜坂処分場は2,722円、温泉処分場は1,550円である。

問 この差の根拠は。

答 投資的経費で割り出し、人件費も考慮してある。

簡易水道事業

問 久斗山本谷の町移管で条例を変えるのか。

答 施設は50人以上となつているから変えなければならぬ。

下水道事業

問 湯村の接続していない旅館は何軒か。

答 12のうち2件が接続している。

一般会計補正予算

契 約

公用車物損事故

- ・発生場所＝浜坂市内
- ・賠償額＝22万円

(全額保険対応)

問 事故当事者職員の氏名公表は。

答 委員会報告の中で口頭にて報告したい。

問 専決規定にある一件50万円以下は賠償案件、この一件か、当該事故一件か。

答 示談交渉一件につき50万円以内であると解している。

条例改正

古市ふれあいセンター

問 施設建物の所有はどこか。

答 3割の集落負担があるが町の事業による整備であり所有権は町にある。

問 敷地はどうなっているか。

答 私有地であるが古市集落が調達しており、古市区と無償貸借契約を締結する。

反対討論(谷口 功議員)

この度の補正の主なものは、人事院勧告による手当の引き下げを4月にさかのぼって実施をするものですが、公務員給与は手当も含め生活給となっており、この引き下げは家族も含め職員の生活を圧迫することになる。さらに、実質的に公務員給与が地域の民間労働者の給与を決める基準となっており、地域の労働賃金圧縮につながることで、結果として地域経済全体を大きく後退させるといふ「負」の悪循環を起こす契機となることなどから反対するものです。

契 約

浜坂中学校耐震補強・大規模改造工事請負変更契約

変更理由 工事着手後

想定外の外壁のひび割れ劣化が広がっていることが判明。また当初予算に盛り込めなかった施設改修に対応するため。

賛成多数可決

(賛成12、反対2、欠席1)

「御火浦交流学習拠点施設」工事契約変更

変更理由 事前調査では

判らなかつた軟弱地盤が確認され、既存工作物の補強工の追加及び建物基礎工に変更が生じたため。全員賛成(14名)可決

問 3割の増工契約など民間ではあり得ない。

答 旧校舎を抱えての事前調査には限界がある。

問 変更理由は図面資料だけでなく文書でも詳しく提示、提案すべきだ。

答 今後は詳細を含め提示したい。

問 予算補正がないがなぜか。

答 当初予算内での変更であり予算補正は必要ない。

問 後期にも影響が出ると思うが変更後の工程表がない。

答 金額のみで工期に変更はない。

問 県道の擁壁下部工が軟弱であるなら、県にも応分の負担を求めべきだ。

答 町が工事をしなければ擁壁は安定している。工事で近接を掘削りをするのは町であり、災害防止措置として理解いただきたい。

問 旧校舎解体後の調査をすべきでないか。

答 事前解体での調査は財政的に不利であることを理解願いたい。



総務教育常任委員会

12月11日開会

* 社会教育課 *

① 図書館

問 図書の購入を多くしては。

答 22年度では、出来るだけ要望に答えたい。

問 支所図書館の位置付けは分館か。蔵書を減らして空間を広げるべきだ。

答 支所は分館ではなく図書室である。読書スペースの補完は検討する。

② 先人記念館

問 入館者をより多く来ていただくように。

答 展示会・イベントをして集客したい。

問 旅行会社へ宣伝をして、日帰りツアーのコースに入れてもらう検討を。

答 旅行者には依頼している。数は少ないが実績もある。

③ 八田コミュニティセンター

問 利用料の無料化を含めて再検討しては。

答 教育委員会と検討したい。

問 敷地・建物の所有者は。

答 土地は町である。建物の1棟は八田文化交流会の所有があり、目的外許可を行っている。

④ 平成22年新温泉町成人式について

平成22年1月10日 夢ホールにて開催
対象者は209人

問 今まで3月開催だった。日時を地域事情にあったように検討しては。

答 今後については再度アンケートを検討する。

問 場所は両地域を交互に開催しては。

答 主役は成人者である。(父兄ではない)。多目的ホールは狭いが住民の意見を聞き検討を行う。

* 企画課 *

① ケーブルテレビ事業の加入について

問 夢ネットを特別会計にするべきではないか。

答 当面は一般会計とする。

② 地上デジタル放送について

問 浜坂地域で難視区への対応は。

答 難視区への解消のためには、組合組織設立により支援が可能であり、行政も指導協力を行う。

* 総務課 *

問 合併特例債の限度額と発行済み起債額は。

答 限度額60億2千万円であり、12億7千万円は発行済。

* 学校教育課 *

① 温泉地域の小学校再編について

H22年4月 温泉小学校・熊谷小学校・春来小学校が統合、そのあと24年4月に、八田小学校・奥八田小学校が加わる段階的統合としている。

問 子ども達が、通学バスへの乗り降りする場所は安全か。

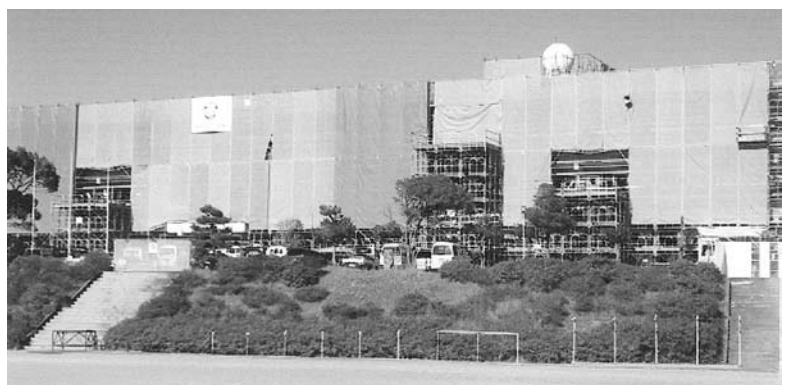
答 安心・安全な場所を検討する。

問 H24年4月に予定されている、八田・奥八田の統合日程はまだ決定していないはずだ。再検討しては。

答 予定どおり(24年4月)に統合できるよう努力したい。

問 教室・ランチルームを確保できるか。

答 普通教室へ改造できる部屋があり問題ない。ランチルームの対応は次年度予算で検討する。



耐震補強工事中の浜坂中学校

産業建設常任委員会

12月14日開会

* 牧場公園課 *

問 子牛販売収益はどの会計で処理されるか。

答 飼育牛は全て県の畜産課の管理財産。県の収入となる。

問 放牧場のワラビ駆除作業を行っているが、ワラビ狩りの体験イベントにつなげてはどうか。

答 土地が肥沃でないために食用に適したワラビが育たず困難である。



ご来場をお待ちしています 牧場公園

* 農林水産課 *

①北但地域野生鳥獣被害対策

問 支援体制確立によって対策がどう変わるのか。

答 野生動物の出没しにくい環境を整える方策を示すことと県・町の役割を示す体制作りである。

問 豊岡、香美は鳥獣駆除班に対する補助が手厚いと聞くが実態はどうか。

答 いのしし、鹿の捕獲価格は1頭5,000円で他市町と差はない。予算規模は養父市1,300万、豊岡市870万、香美町213万、当町220万である。特に香美町においてはサル対策が多い。

問 当町の猟友会は高齢化している。ワナ免許取得者を増やす必要があると思うがどうか。

答 警察の所有制限が厳しい面もあるが、講習会への支援など協議会の交付金を活用し、免許取得者を増やしたい。また、捕獲ばかりに重点を置くのではなく、出没しにくい予防環境、予防体制を整えていくことも、被害軽減の有効な対策であると聞いている。

②外国人漁業研修生の研修状況について

- ・平成21年8月10日入国の10人の研修生の内
- ・平成21年12月19日時点において4人の中途脱退者

問 船酔いによる脱落者が多いが、冬の日本海の荒波に対する募集時の説明が不十分ではないか。

答 募集については漁協職員が直接、現地面接・採用をしている。インドネシアにおける大波への理解に差がある。冬場のカニ漁を越えれば問題ないが、大波への認識には今後配慮する。

③ズワイガニ

問 販売価格が他市町と比べ安い、なぜか。

答 他の漁港と比べ仲買人の数の差による部分が多い。価格の安い分、量でカバーしている。加工業者の数、需要の差の部分もある。

* 建設課・産業建設課 *

除雪計画について

問 単価契約が総価契約に変更したことによる業者への影響はあるか。

答 従前と大きく変わらない。

問 業者の多くが除雪機械の維持が重荷となっている。将来、町で購入できないか。

答 バケツ1m当たり30万円の損料助成をしている。除雪機を全て町で保有することは、保管場所の問題もあり困難。

問 20~80万円の機械損料を補填しているというが更に手厚くできないか。機械購入時に支援できる方法はないか。

答 固定経費の何割かを委託料に当初から組み込むことも考えたい。機械購入時の支援も今後必要と思われる。

* 商工観光課 *

観光交流センター

問 新薬師湯の坂本カメラ店側の駐車スペースが鎖で閉ざされたまま使われておらず無駄なスペース。開放はできないか。

答 無駄であっても管理すべきと考える。

問 休日における車の渋滞も見られる。周辺住民の意見聴取の上、湯財産区と調整してはどうか。或いは駐車場を一定時間無料とすることはできないか。

答 北・東駐車場との兼ね合いもあり、駐車場から中心部へ歩くことの観光導線を大切にしたい。

問 薬師湯国道側の竹林が生え放題で放置され、景観を損ねている。剪定をすべきでは。

答 目隠しとしての効用もあり全伐はできない。景観上一定の管理をしたい。

環境福祉常任委員会

12月15日開会

* 公立浜坂病院 *

- ・入院患者数 10月末現在 前年対比29.5%減
- ・外来患者数 10月末現在 前年対比10.2%減
- ・経営状況は退職した医師1人分の事業収益・事業費用の減額を除けば、ほぼ前年並みに推移している。

- ・応募期間10月1日～11月30日

現在グループホーム民間業者1社の応募

②平成22年度幼稚園児、保育園児募集について

- ・平成22年度の申し込み数は、0～5歳児まで742名で現在425名入所希望がある。

* 上下水道課 *

問 下水道接続率は。

答 浜坂地区74.7%、温泉地区70.8%である。

問 接続促進に向けた戸別訪問状況については。

答 未接続先を戸別訪問し、未接続理由の確認と早期接続に向けた取組みを依頼し、不在の場合は調査票を配布し後日再訪問している。

* 福祉課 *

報告事項

- ①認知症対応型共同生活介護事業者の応募状況について

* 健康課 *

報告事項

①子供医療費助成制度創設について

- ・対象児童は小学校4年生から中学校3年生で、入院のみが対象となります。県費10割補助。但し所得制限が適用されます。期間は平成22年4月1日～平成27年3月31日までの5年間。

②新型インフルエンザワクチン接種について

- ・無料接種対象を1歳から就学前までの乳幼児に拡大 接種対象者557人

③八田診療所医師の就任について

- ・森川剛志（もりかわたかし）医師
平成22年1月4日着任予定
- ・勤務体制 午前中：浜坂病院 午後：勤務



接続アップが望まれる下水道

定例会（12月）で可決された主な議案

1. 新温泉町非常勤の職員の公務災害保障等に関する条例の一部改正について
2. 御火浦交流・学習拠点改築工事請負変更契約の締結について
3. 新温泉町立浜坂中学校耐震補強・大規模改造等工事請負変更契約の締結について
4. 公の施設に係る指定管理者の指定について（古市ふれあいセンター）
5. 一般会計補正予算（第4号）について
6. 下記の特例会計補正予算

① 国民健康保険事業	⑦ 七釜温泉配湯事業
② 介護保険事業	⑧ 下水道事業
③ 浜坂地区残土処分場事業	⑨ 浜坂温泉配湯事業
④ 温泉地区残土処分場事業	⑩ 水道事業
⑤ コミュニティ・プラント事業	⑪ 公立浜坂病院事業
⑥ 簡易水道事業	

主な内容は人事院勧告に準じた給与の引き下げ、臨時会（1月）で可決された議案

1. 副町長選任同意
2. 専決処分の報告3件を承認

請願書

請願者 道盛津洋子
紹介議員 中井次郎

内容 浜坂地域の乳幼児健診、予防接種が「保健福祉センターすこやかかく」一本であったものを浜坂保健センターでも受診できるように改善を求めるもの。

採択し当局に要請しました。

意見書 ①

後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める

提出者 谷口 功

提出先 衆・参両院議長、内閣総理大臣外関係大臣

内容 この制度は75歳以上の高齢者を国保や健保から追い出し、困い込み、高齢者の医療を差別する

「姥捨て」制度そのもので廃止するしかない。一日も早く老人保険制度に戻すとともに、その際、保険料などの負担増とならないよう国保に対する財政措置を取るべきである。

意見書 ②

障害者自立支援法の応益負担の廃止を求める

提出者 谷口 功

提出先 衆・参両院議長、内閣総理大臣外関係大臣

内容 障害者が生きていく上で不可欠の福祉サービスや医療に負担を求めること自体、憲法や福祉の理念に反するものです。全ての障害者が人間らしく生活できるように、憲法や国連の「障害者権利条約」を踏まえた総合的な福祉法制を確立し、障害者福祉・医療の「応益負担」を速やかに廃止

されるよう強く要請します。

意見書 ③

提出者 西脇 明

提出先 衆・参両院議長、内閣総理大臣外関係大臣

内容 農林漁業用輸入・国産A重油免税、還付措置適用期限が平成22年3月末に到来することから、適用期限の延長を求めるもの。

（産業建設常任委員会での協議提案）

以上の意見書3件採択し関係官庁に送付しました。





さし絵 清水伸子氏



松井長治

東京都在住
(丹土出身)

私は昭和35年に郷里をあとにして大阪を経て同郷の中村有三氏(群馬育英学園創設者)のもとに身を寄せました。当初受験予備校のみの運営でしたが当時は「人づくり」が国の大きな施策とされ、高校急増期の幕開けの始まりでもあり前橋市においても高校誘致の動きが活発となりこのことにより名乗りをあげ前橋育英高校が誕生いたしました。暮れから正月にかけて繰り広げられる全国高校サッカーは今や冬の風物詩、その前橋育英高校が群馬代表常連校として今年も全国大会において優勝候補の筆頭として名を連ねました。創設時から身を置いた一人としてこの時期が訪ずれると応援で血が騒ぎます。50歳を前に事情により東京に居住することとなり、いま大変揺らいでいる日本航空の協力会社に61歳まで勤務して現在はサンデー毎日の日々を送っております。

今でも誇りとしていたい但馬人気質

郷里で過ごした期間は僅か15年と短かったのですが未だ但馬出身であることに誇りをもっております。それは但馬人特有の純朴さと辛抱強さ、このことの大切さを教育の中から学び自身も子供なりにいつの日か金科玉条のようにして受け入れていた感があります。この気質こそが但馬杜氏を育んだ文化、但馬牛を産出してきた風土に通じていることは間違いないところだと思えます。ところで鳩山総理は「友愛」を谷垣総裁は「絆」をそれぞれ標榜いたしました。共通するところはどちらも愛情であります。昨年は衆議院での民主党大勝を経て政権交代がおこなわれました。しかしながら日本経済の好転の兆しはまだ一向にみえてまいりません。ここは国民に対して愛情のある政治がおこなわれることを期待したいと思います。

最後に新温泉町がますます栄え発展されること祈念申し上げます。

議会日誌

(11月)
20日 臨時会
27日 町内現地調査

(12月)
4日 議会運営委員会
9日、10日 定例会
11日 総務教育常任委員会
14日 産業建設常任委員会
15日 環境福祉常任委員会
17日 定例会

(1月)
8日 議会広報調査特別委員会
8日 議会運営委員会
15日 臨時議会



トピックス

町民の皆様には輝かしい良いお年をお迎えのことと拝察いたします。私たち議会人は、議会のあるべき姿の原点にかえり、町民のためには何を成すべきかを考えて活発な議会活動をしようと思っております。町民と議会がかげはなれたものであってはなりません。町民の声を議会に、又町政に反映させるのが議員のつとめだと思っております。

「議会だより」を発行する委員も新しくなりました。知恵をだしあい皆さまに読んでいただける「議会だより」にしたいものだと張りきって頑張ります。

広報調査特別委員会

委員長 西村敏弘
副委員長 中村経逸
委員 小林俊之 富男 論
谷田一 泰男
宮本 泰
宮脇 脇

発行者 議長 岡坂峰雄